

たはら 社協だより

田原社協 🔍 検索



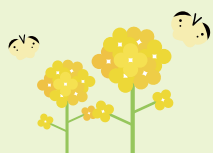
第 **122** 号
2024.1.15



撮影者 ・ 中日写真協会 田原支部 折原麻子氏

もくじ

- * 2~3
年頭ごあいさつ、歳末たすけあい運動
- * 4~5
福祉団体の活動紹介、ボラ活通信
- * 6~7
傾聴ボランティア講座・成年後見制度啓発講座参加者募集
- * 8
心配ごと相談



季節のお便り

一緒に歩こう♪

菜の花畑を歩いていると、たくさんの花に囲まれて、お花の迷路を歩いている気分になります。また背丈と同じぐらいの菜の花の中では、ちょっとしたかくれんぼもできそうです。

菜の花畑を進んだ先には何があるかな。寒い中、明るく元気いっぱい咲く菜の花に囲まれて、一足早い春の訪れを感じながら童心に帰って歩いてみるのもいいですね。

年頭「あいつり」

明けましておめでとーいげーます

皆さまにおかれましては、希望に満ちた新春をお迎えのことと、謹んでお慶び申し上げます。

さて、今年は辰年。本来、十二支は植物の成長過程を表し、「辰」は草木がよく伸長し、形が整い、活気にあふれている状態のことをいっそうです。

また、「辰」は動物にあてはめると「龍」ですが、龍は十二支の中で唯一空想上の生き物です。

昔、中国の山奥に悪龍が住み着き、時折現れては村人に害をなした。一人の青年が「誰かがこの龍を退治しなければならぬ」と考え、その龍を屠る技を身に付けるべく、一生をかけて「屠龍の技」を磨いた。しかし、龍は二度とその村に姿を現さなのまま、青年は一生を全うした。村人の中には、無駄なことをしたと笑つ者もいた。非ず、悪龍は屠龍の技を磨いていた者が住む村を恐れて避けていたのである。」

東京消防庁第六消防方面本部消防救助機動部隊（通称、ハイパーレスキュー）の壁に掲げられている隊訓額「屠龍の技」の記述は続きます。

『我々は龍の出現の有無に拘わらず屠龍の技を磨く。ただし、現れたら一撃のもとにこれを屠る。それが我々の目指すところである。災害に備えて常に訓練を重ねる。『何もないこと』と『何もないよう』にしたこと』とは天と地ほどの差がある。』
明るく心豊かな地域社会の実現に向け、私たち社会福祉協議会職員一同、人と人との「つながり」を大切にしながら、取り組んでまいりたいと思っております。何卒、よろしくお願い申し上げます。

今年一年が皆さまにとりまして、健やかで実り多き年でありますよう、心からご祈念申し上げます、年頭のごあいさつとさせていただきます。



社会福祉法人

田原市社会福祉協議会

会長 山田貴三



赤い羽根共同募金（歳末たすけあい運動）

令和5年12月1日～31日の歳末たすけあい運動の期間において、以下の皆さまにご協力をいただきました。

◎街頭募金

ボーイスカウト愛知連盟穂の国地区田原第1団 様

◎学校募金

蔵王こども園 様、漆田保育園 様、
市内小中高等学校 様

◎個人・法人・職域・個別募金

企業、関係団体、地域の皆さま

募金は、地域福祉のために活用させていただきます。ご協力ありがとうございました。

募金額の集計につきましては、3月号の社協だよりでご報告させていただきます。



▲福江小学校 様



▲田原南部小学校 様



▲漆田保育園 様

中央共同募金会会長表彰を受賞しました。

令和5年11月15日（水）浅草公会堂（東京都台東区）にて開催された「令和5年度全国社会福祉大会」において、田原市共同募金委員会が長年赤い羽根共同募金運動（自分の町を良くするしくみ）に貢献したことが認められ、中央共同募金会会長表彰を受賞しました。

田原市共同募金委員会では、更なる赤い羽根共同募金運動の活性化に向けて努めてまいります。

市民の皆さまには毎年たくさんの温かいご協力をいただいています。これからも引き続き、赤い羽根共同募金にご理解とご協力をお願いいたします。

「第37回 福祉のつどい」を開催しました

令和5年11月19日（日）、田原福祉センター・ララグラン・田原文化会館で、「第37回福祉のつどい」を開催しました。「今、つながろう！」をテーマに、3会場で様々な催しを実施しました。

田原福祉センターでは、式典において地域福祉に功績のあった個人・団体を顕彰し、感謝の気持ちをお伝えしました。また、ボランティア団体等による活動紹介や体験教室、パネル・働く車の展示、つながるカフェ、eスポーツ体験会、チャリティーバザー、健康チェック、フードドライブ（食品寄付受付）、のんほいパーク認定アーティスト花島愛弥さんのワークショップ&作品展など、内容盛りだくさんで実施しました。

ララグランでは、ボランティア団体等の活動発表やキッチンカーの販売が行われ、田原文化会館文化ホールでは、田原市地域包括ケアを考える講演会を共同開催し、東北大学加齢医学研究所 教授 川島 隆太氏による「大人の脳活 認知症を遠ざける! 脳が元気になる～あなたの運転寿命を延ばすためには～」と題して講演を行いました。

イベントを通して、福祉活動や健康増進、地域づくりの活動を身近に感じていただけたことと思います。

小さなお子さんからご高齢の方まで、多くの方々にご来場いただき、誠にありがとうございました。また運営にご協力をいただきました福祉・ボランティア関係団体の皆さまにも感謝申し上げます。

田原福祉センター



ララグラン



田原文化会館



田原市子ども会連絡協議会 /



令和5年7月28日(金)
交通少年団集合訓練(トヨタスタジアム)

現在、子ども会リーダー、ジュニアリーダーとして活躍してくれる子を募集中しています。

私たちと一緒に楽しく活動しましょう！



田原市内の単位子ども会では、代表の6年生が「子ども会リーダー」として活動しています。

中学生以上のジュニアリーダーからレクリエーションや工作を教えてもらい、季節の行事を体験したり、交通少年団として交通安全の啓発活動を行ったりしています。



令和5年12月3日(日)
クリスマス会

田原市老人クラブ連合会 /

田原市老人クラブ連合会では、魅力あるクラブ活動を目指して、様々な行事を開催しています。

令和5年9月に田原警察署生活安全課の防犯講話や、愛知県警から「交通安全チームあゆみ」をお招きして「人生100年時代 ワシらの安全安心なまちづくり集会」を、11月には伊良湖ウォーキング大会を初立ダムにて開催しました。12月には「シルバー歌謡まつり・芸能発表大会」を開催し、歌謡やマジック、舞踊など日頃の成果を発揮され、素晴らしい舞台となりました。シルバー歌謡まつり・芸能発表大会にあわせて、手芸や絵画等を制作されている方の作品48点を展示しました。

また行事の他、各種大会にも出場し、令和5年10月7日(土)に開催された「第19回愛知県老人クラブグラウンド・ゴルフ大会」では、田原市のチームが団体の部で優勝しました。

本連合会では、行事の他に地域での趣味のグループ活動も随時開催しています。ご興味のある方は、お気軽にお問合せください。



人生100年時代
ワシらの安全安心なまちづくり集会



第19回愛知県老人クラブ
グラウンド・ゴルフ大会

田原市身体障害者福祉協会 /

田原市身体障害者福祉協会では、身体障害者手帳を持つ会員相互の親睦を図り、障害者福祉の増進を図ることを目的として、レクリエーションや各種大会の出場などの活動を行っています。

令和5年9月24日(日) 愛身連カラオケ交流会

優勝 光部菊男さん

令和5年11月12日(日) 愛知県身体障害者グラウンド・ゴルフ大会

男性の部 3位 河合一さん

令和5年12月3日(日) 第62回愛知県身体障害者福祉大会

愛知県社会福祉協議会会長顕彰(更生援護功労者) 森義和さん

愛知県身体障害者福祉団体連合会会長表彰(更生援護功労者)

小林忠勝さん

がそれぞれ受賞されました。



愛身連カラオケ交流会



愛知県身体障害者福祉大会

本協会では、会員を随時募集しています。田原市にお住まいの方で、身体障害者手帳をお持ちの方は、ぜひご入会ください。

生活介護事業所なのはなのクリスマス



生活介護事業所なのはなでは、赤羽根福祉センターで障がいのある方の昼間の生活を支えるサービスを提供しています。

令和5年12月25日（月）には、冬らしい雰囲気味わっていただくクリスマス会を開催しました。利用者の皆さんと一緒にクリスマスの歌を歌い、紙芝居やマジックを楽しみながら、サンタとトナカイに扮した職員が登場し、最後にみんなでケーキを味わいました。

これからも利用者の皆さんの笑顔が見られるような支援を行っていきます。



■生活介護事業所なのはな ☎45-3828

ひとりで悩んでいませんか？

ひきこもりや不登校は、以下の公的相談機関（無料）にご相談ください。



【ひきこもり・不登校】

○田原市子ども・若者総合相談窓口

☎0531-36-6453 ※40歳位まで
田原市野田町籠田3 田原市ふるさと教育センター内

○田原市ひきこもり相談窓口 ☎0531-23-3697

田原市田原町南番場30-1 田原市役所地域福祉課

○豊川保健所 健康支援課 こころの健康推進グループ

☎0533-86-3626 豊川市諏訪3-237
※豊川保健所田原保健分室(田原福祉センター内)にて対応可

○田原市社会福祉協議会 生活困窮者自立支援事業

☎0531-23-0610
田原市赤石二丁目2番地 田原福祉センター内

○田原市障害者総合相談センター ☎0531-23-3812

田原市赤石二丁目2番地 田原福祉センター内

○とよはし若者サポートステーション

☎0532-48-7808 ※15歳から49歳まで
※毎月第4木曜日/14時~16時 田原福祉センター
豊橋市牟呂町字東里26番地 豊橋市青少年センター内

【不登校】

○田原市教育サポートセンター ☎0531-36-4732

田原市野田町籠田3 田原市ふるさと教育センター内

一緒に考えます。また、必要に応じて関係機関や不登校支援の団体と連携します。まずはご相談ください。

今回は「フトシ」「渥美制服リサイクル会」のご紹介です。

元々、学習支援として「寺子屋」の活動があり、不登校の親の会「フトシ」が始まりました。その中のメンバーの意見から、経済的不安をお持ちの方への支援として、「渥美制服リサイクル会」を立ち上げたそうです。



社協

活動をするにあたって、大切にしていることは？

親御さんが気持ち話をせる場所、ほっとできる場所になれるとよいと思っています。点としての場所ではなく、つながれるような雰囲気を大切にしています。

今まで活動をしてきた中で、経済的な不安を抱えている方がいることを知り、リサイクルを通しつながらる方法を考えました。渥美地区の市民館に回収箱を置かせていただいています。

ボランティアの生の声



フトシ



渥美制服リサイクル会

問合せ先

「フトシ」
090-2185-2523 (板倉)
「渥美制服リサイクル会」



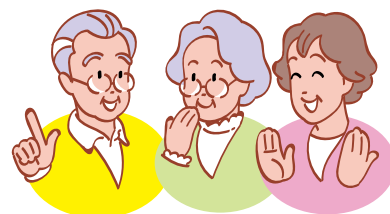
活動を詳しく知りたい方は、上記問合せ先、またはボランティアセンターまでお問合せください。

■田原市社会福祉協議会ボランティアセンター ☎23-0610

「傾聴ボランティア講座」参加者募集！

傾聴とは、相手の話しを否定せず、ありのままを受けとめ、プラスに評価しながら聴くことです。皆さんも、「傾聴」について学び、日々の暮らしやボランティア活動に役立てませんか。

- 日時 ◆ 3月2日（土）・3月9日（土） 14時～16時
- 場所 ◆ 田原福祉センター 3階大会議室（田原市赤石二丁目2番地）
- 講師 ◆ 愛知大学 文学部 教授 鎌倉 利光 氏
- 定員 ◆ 30名
- 参加費 ◆ 無料
- 申込締切 ◆ 2月22日（木）
- 申込み・問合せ ◆ 田原市社会福祉協議会 ☎23-0610



成年後見制度啓発講座

『任意後見制度と民事信託』～元気なうちに自ら決める将来の備え～

急激に高齢社会が進展する中、将来に不安を感じている方が増えています。認知症などで判断能力が低下しても住み慣れた地域で安心して暮らすため、元気なうちに備えるためにはどのような手段があるのでしょうか。任意後見制度と民事信託について学び、自分に合った備えを考えてみませんか。

- 日時 ◆ 2月21日（水） 13時30分～15時 講演会終了後に個別相談を行います。
- 場所 ◆ 田原福祉センター 3階大会議室（田原市赤石二丁目2番地）
- 講師 ◆ 名古屋法務局 豊橋支局
- 参加費 ◆ 無料
- 申込締切 ◆ 2月14日（水）
- 申込み・問合せ ◆ 田原市社会福祉協議会 田原市成年後見センター
☎23-0610 FAX23-3970



令和6年度 あいちシルバーカレッジ豊橋 募集案内

高齢者の生きがいと健康づくりを応援するため、「あいちシルバーカレッジ」を開講します。

- 日時 ◆ 令和6年4月～翌年3月（全30日程度） 10時～16時
- 会場 ◆ 豊橋市民センター（カリオンビル）（豊橋市松葉町2-63）
- 対象 ◆ 県内在住の満60歳以上（昭和39年4月1日以前生まれ）の方
※過去に在籍した方を除きます。
- 定員 ◆ 文化教養学科 80人（抽選）
- 料金 ◆ 年額23,300円（予定）
- 申込み ◆ 専用申込書を令和6年2月2日（金）必着で郵送
- その他 ◆ 専用申込書は、募集パンフレットとともに田原市役所、田原市社会福祉協議会で配布
- 問合せ ◆ 愛知県社会福祉協議会福祉生きがいセンター
☎（052）212-5521 ホームページ <http://aichoju.ec-net.jp/>



車椅子を貸出しています

田原市在住の方で、ケガ等により**一時的**に車椅子が必要な方に無料で貸出をしています。

貸出には社会福祉協議会の窓口にて申請が必要です。

貸出期間◆ 必要に応じて原則1ヶ月以内

申請方法◆ 田原福祉センター、赤羽根福祉センター、あつみライフランドの各社会福祉協議会の窓口にて申請書を記入し、ご提出ください。(車椅子を借りられる場所で申請してください。)

申請時間◆ 平日(年末年始・祝日を除く) 8時30分～17時15分

※詳細は、社会福祉協議会ホームページ「各種貸出事業」をご確認ください。

URL <http://tahara-shakyo.or.jp/kashidashi/kashidashi.html>



第71回愛知県社会福祉大会において、長年ボランティア活動に尽力をされている次の団体が受賞をされましたのでご紹介します。

- 愛知県社会福祉協議会会長表彰 JA愛知みなみ助け合い組織 様
- 愛知県社会福祉協議会会長感謝 トヨタ自動車株式会社田原工場 EX会田原支部 様
視覚障害者団体さくらんぼ 様

食品・生理用品の寄付にご協力をお願いします

ご寄付いただけるものがありましたら、少量でも構いませんのでご協力をお願いします。



寄付していただきたいもの

お米、インスタント食品、レトルト食品、缶詰、乾麺、乾物、非常食、生理用品、オムツ 他

受付できないもの

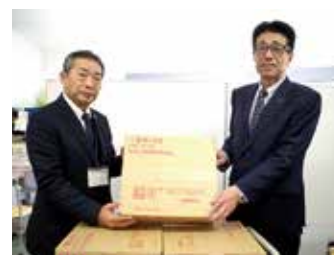
- ① 賞味期限が1か月未満のもの
- ② 開封済みのもの
- ③ アルコール類(みりん、料理酒を除く)

*皆様からご寄付いただいた食品は、令和5年11月から12月までの間に、79件の生活にお困りの個人の方へお渡しをしました。

*「第37回福祉のつどい」では、フードドライブ(食品寄付受付)を行い、15件の食品等のご寄付をいただきました。ご協力ありがとうございました。



三河海苔問屋協同組合 様



株式会社アイシン 様

ご寄付ありがとうございました

- 三河海苔問屋協同組合 様 食品(焼きのり)
- 株式会社アイシン 様 食品
- 衣笠町内会 様 食品
- 中山自治会 様 食品
- 法蔵寺 様 食品
- 匿名(個人37件、企業1件)

〔令和5年11月～12月〕

問合せ

田原市社会福祉協議会 ☎23-0610

ご寄付ありがとうございました。

令和5年11月7日～令和5年12月28日

- 愛知みなみ農業協同組合青年部 様
- コープあいち災害支援 様
- 田原市更生保護女性会 様
- 一般財団法人荒川磯慈善会 様
- 木全一幹 様
- 前田昌伸 様
- 匿名 3件



こんな時、
こんなお金を...

- ・ お祝い事、ご香典の一部
 - ・ 各種チャリティーバザーの益金
 - ・ 商店の開店等の記念行事の一部
 - ・ 福祉のために役立てようと思った時
- ※所得税や法人税などについて、優遇措置があります。



ふくしクイズ



問題

今年の干支は何でしょうか。

- ① 辰(たつ) ② 巳(み) ③ 午(うま)

ハガキに答え、郵便番号、住所、氏名、ご感想をお書き添えのうえ、ご応募ください。

- 締切：2月16日(金)《当日消印有効》
- 抽選で5名の方に図書カードをお送りします。

- 応募先：〒441-3422 田原市赤石二丁目2番地
田原市社会福祉協議会

※11月号の応募数は33通でした。ご応募ありがとうございました。

ヒント
社協だより2頁をご覧ください。

無料で弁護士に相談ができます。

『心配ごと相談』

生活上の悩みごとや心配ごとの相談に応じます。

法律的な相談には弁護士が対応し、解決のための方向性等を助言します。

- 対象者 田原市に住所を有し在住している方。
- 相談方法 弁護士等による面談方式です。
- 相談時間 1回の相談時間は30分以内です。
* 相談は、すべて予約が必要です (2か月以上先の予約はできません)。
* 同一内容でのご相談は原則1回限りとします。
- スケジュールは以下のとおりです。

秘密は厳守されますので、安心してご相談ください。



月	日	時間	開催地区	弁護士	司法書士	土地家屋調査士	児童生委員	人権擁護委員	行政相談委員	社会保険労務士	家庭相談員	母子・父子自立支援員
1	9(火)	13:30~16:00	渥美	○				○	○			
	10(水)	13:00~16:00	田原	○			○		○	○		
	17(水)	13:00~16:00	田原	○	○			○				○
2	6(火)	13:30~16:00	渥美	○			○					○
	7(水)	13:00~16:00	田原	○			○		○	○		
	14(水)	13:00~16:00	赤羽根						※			
	21(水)	13:00~16:00	田原	○		○	○				○	
	29(木)	13:00~16:00	田原	○								
3	5(火)	13:30~16:00	渥美	○				○	○			
	6(水)	13:00~16:00	田原	○			○		○	○		
	13(水)	13:00~16:00	田原	○	○			○				○

◆開催場所、予約申込先

田原 田原福祉センター ☎23-0610

渥美 あつみライフランド ☎33-0279

(希望される会場に直接お申し込みください。)

※赤羽根地区(赤羽根福祉センター)での行政相談をご希望の方は、赤羽根福祉センター☎45-3499へご連絡ください。

たはら社協だよりは、社協会員の皆さまからお寄せいただいた会費の一部が充てられています。